

与謝野晶子歌碑めぐり

令和6年版



土肥俊夫

与謝野晶子歌碑めぐり

令和6年版

はじめに

一気にまとめてしまいました、という感じです。

平成6年に、一度、堺市内の与謝野晶子の歌碑をめぐり歩きました。パンフレットや市内の地図を片手に、手探りの状態で探しつつ歩きました。大仙公園の中にあるといっても、広い公園内のどこにあるかもわかりませんでした。それは、他の場所の歌碑でも同じです。でもゲーム感覚で、探す楽しみもありました。見つけた時の快感は、探した者だけが感じられるものでしょう。

それから18年。ウォーキングを自分の趣味としている私にとって、こんなところに晶子の歌碑があるという発見の驚きがあり、何故ここに建てられたのかという疑問もわいてきました。そこで、再度、市内の歌碑めぐりを始めた次第です。

18年前よりも10以上は増えたでしょうか。与謝野晶子が見直されたのか、堺出身の全国レベルの文化人としては、一番現在に近い人かもしれませんし、そういう意味あいもあったのかもしれません。調べると、晶子とその地との結びつきはほんとに薄く、たまたまその地に関するキーワードが、その歌に入っているだけのことが多々ありました。それでも、晶子を選択したというのが、堺市民にとっては大事なのかもしれません。

目次

与謝野晶子歌碑めぐり：阪堺電車コース	
与謝野晶子歌碑めぐり：JR阪和線コース	
歌人・与謝野晶子	8
① 水野鍛錬所前	9
② 正中山覚応寺	10
③ 西本願寺堺別院	11
④ 妙國寺	11
⑤ 大阪府立泉陽高等学校	12
⑥ 開口神社	12
⑦ 三菱東京UFJ銀行前	13
⑧ 与謝野晶子銅像	13
⑨ 与謝野晶子生家跡	14
⑩ 女性センター	16
⑪ 堺市立少林寺小学校	16
⑫ 浜寺公園	17
⑬ 与謝野晶子記念館	18
⑭ 堺女子短期大学	19
⑮ 大仙公園	19
⑯ 堺市立中央図書館	20
⑰ 大鳥大社	20
⑱ 羽衣国際大学	21
⑲ 湊駅東口・公園広場	21
⑳ 石津神社	22
㉑ 堺市立上神谷小学校	22
㉒ 賢明学院中学校・高等学校	23
㉓ 大阪府立金岡高等学校	23
㉔ 堺市民芸術文化ホール	24
与謝野晶子歌碑等分布図	25

与謝野晶子歌碑めぐり：阪堺電車コース

阪堺電気軌道：高須神社電停下車

① 水野鍛錬所前

高須神社電停乗車・・・神明町電停下車

② 覚応寺

③ 西本願寺堺別院

④ 妙國寺

⑤ 泉陽高等学校

⑥ 開口神社

⑦三菱東京UFJ銀行前

⑧ 与謝野晶子銅像

⑨ 与謝野晶子生家跡

⑬ 与謝野晶子記念館

⑩女性センター

⑪少林寺小学校

寺地町電停乗車・・・浜寺駅前電停下車

⑫ 浜寺公園

与謝野晶子歌碑めぐりマップ（阪堺電車コース）



与謝野晶子歌碑めぐり：J R阪和線コース

J R阪和線：浅香駅下車

⑬ 堺女子短期大学

J R阪和線：浅香駅乗車・・・百舌鳥駅下車

⑭ 大仙公園

⑯ 堺市立中央図書館

J R阪和線：百舌鳥駅乗車・・・鳳駅下車

⑰ 大鳥大社

⑱ 羽衣国際大学

南海本線：羽衣駅乗車・・・湊駅下車

⑲ 湊駅東口公園広場

南海本線：湊駅乗車・・・堺駅下車

⑧ 与謝野晶子像

南海バス：堺駅南口乗車・・・宿院下車

⑬ 与謝野晶子記念館

与謝野晶子歌碑めぐりマップ（JR阪和線コース）



歌人・与謝野晶子

明治11（1878）年、菓子司・駿河屋の長女として生まれ、堺の海を見て育った鳳志^{ほう}ようが、師として仰いでいた与謝野鉄幹氏と結ばれて与謝野晶子となられたことは、よくご存知の通りです。



明治34（1901）年、歌集「みだれ髪」を出し、多くの若者の心を捉えました。この「みだれ髪」の表紙が、フランスの画家ミュシャの作風であるアールヌーボーを取り入れたものとして知られていますね。

また、明治37（1904）年に日露戦争に出征する弟を気遣う家族の思いを「君死にたまふことなかれ」の詩を謳って世に出した晶子は、富国強兵を是とする日本人から見ると、日和見であり、国を売る者として猛烈な批判をあげました。しかし晶子は、まことの心を詠んだとして屈しません。

その後、夫鉄幹を希望していたヨーロッパに送り出すと共に、自らも赴き、新しい境地を開いたのです。また、経済的にも自立すべきであるとの女性解放運動にも取り組み、自由主義を骨子とした教育を目指して、文化学院を創設しました。

古典研究の一環として源氏物語の現代語訳をした「新訳源氏物語」は有名ですね。

昭和17年に63歳の生涯を閉じています。

上の「君死にたまふことなかれ」の歌碑は、大阪府立泉陽高等学校に建立されています。

① 水野鍛錬所

(鉄砲鍛冶：

榎並屋勘左衛門、
芝辻理右衛門屋敷跡)



北旅籠町西の紀州街道沿
いにあるこの水野鍛錬所は、

昭和22(1947)年の法隆寺の改修の際に、五重塔の大きな
魔よけ鎌を鍛えた所です。法隆寺を解体した時に出た古釘をあつ
めて鍛え直したものです。日常的には家庭用や職人用の庖丁を伝
統的な手法で造っています。

晶子の歌を歌碑として設置したのは、この地域(北旅籠町から
神明町までの七町)が、カジヤの専門語で「七まち」と呼ばれて
いたのを、与謝野晶子が歌っていたことによるものだそうです。



「住の江や
和泉の街の 七まちの
鍛冶の音きく
菜の花の路」

② 正中山覚応寺

伊予（現・愛媛県）の豪族河野通元が覚如上人に帰依し、覚応と名乗りました。そして日向（現・宮崎県）の霧島山のふもとに一宇を建て、覚応坊と名付けました。

数代の後に堺に移り、第5世覚貞は蓮如上人に師事して、坊を改めて覚応寺とした後、現在地に移ったとのことです。

この寺の住職河野鉄南は、文学仲間の与謝野鉄幹と晶子とを引き合わせた人です。また、境内には与謝野晶子の歌碑があり、毎年5月29日の晶子の命日に、晶子の大好きだった桜にちなみ、「白桜忌」が開かれています。



「その子はたち くしになるゝくろかみの
おごりの春の うつくしきかな」

③ 西本願寺堺別院

(1868：堺県庁が
置かれた寺)



劫初より
作りいとなむ殿堂に
われも黄金の
釘ひとつ打つ

④ 妙國寺

(1868：土佐十一烈士
切腹の寺)



故郷
堺の街の妙國寺 その門前の庖丁屋の
浅黄納廉の間から 光る刃物のかなし
さか 御寺の庭の塀の内 鳥の尾のよ
にやはらかな 青い芽をふく蘇鉄をば
立って見上げたかなしさか 御堂の前
の十の墓 佛蘭西船に斬り入った 重
い科ゆゑ死んだ人 その思出のかなし
さか いいえ それではありませぬ
生まれ故郷に来は来たが 親の無い身
は巡礼の さびしい気持になりました

⑤ 大阪府立泉陽高等学校
 (与謝野晶子出身の
 旧制高等女学校)



あゝをとつとよ君を泣く
 君死にたまふことなけれ
 末に生まれし君なれば
 親のなさはまさりしも
 親は刃をにぎらせて
 人を殺せとをしへしや
 人を殺して死ねよとて
 二十四までをそだてしや

⑥ 開口神社

晶子が幼少時に遊んだ神社で、
 未来のある女性が、楠の大木から
 生き生きと伸びていく若枝のよう
 に成長してほしいという願いから



少女たち
 開口の神の樟の
 木の若枝さすごと
 のびて行けかし
 (晶子自筆)

⑦ 三菱東京UFJ銀行前

(晶子生家跡前)



「菜種の香 古きさかいを ひたすらむ
踏ままほしけれ 殿馬場の道」

⑧ 与謝野晶子銅像

(南海本線堺駅西口駅前広場)

「ふるさとの
潮の遠音のわが胸に
ひびくをおぼゆ 初夏の雲」



⑨ 与謝野晶子生家跡

(阪堺電気軌道線

宿院電停北)



「海恋し

潮の遠鳴り

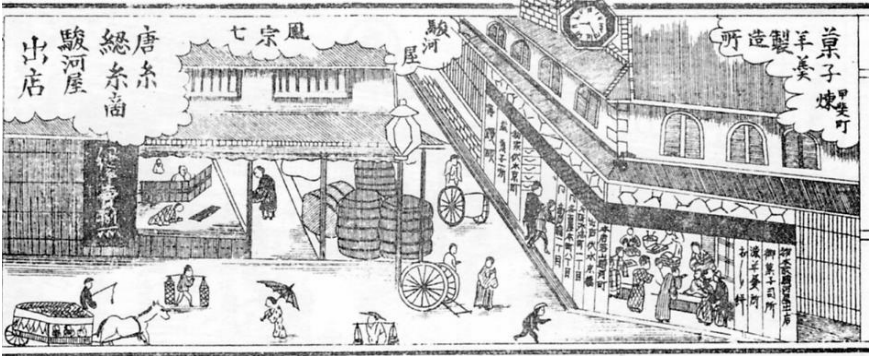
かぞえつつ

少女となりし

父母の家」

この碑の置かれている場所は、正確には生家跡とはわずかに西にずれています。もともと生家跡の碑は、阪堺電車の線路内に設置されていました。昭和30年に紀州街道、というよりも阪堺電車の走っている大道筋が西側に拡げられました。紀州街道の1本西の道（西六間筋）までの住宅が全て立ち退かされて、道路になったのです。

次のページの図は、明治16年（1883）年の「住吉堺名所並に豪商案内記」に描かれた「駿河屋」で、紀州街道に沿って建てられていました。



当時の豪商の1軒として描かれています。「菓子 練羊羹製造所」と書かれ、また店の二階には時計までが設置されており、並の店ではないことがわかります。左側には、「唐糸 總糸商 駿河屋出店」とあり、お菓子屋だけでなく、糸までも扱っていたのですね。

この家から、大阪湾の潮の遠鳴りが聞こえていたのでしょうか。今と違って浜がもっと東にあった頃です。この家で乙女となった晶子自身を思い起こし、父母を恋しく思って詠んだのかも知れません。



菓子司・駿河屋
岸谷勢蔵・画

⑩ 女性センター

「すべて眠りし女
今ぞ目覚めて動くなる」



「地はひとつ 大白蓮の花と見ぬ
雪のなかより 日ののぼるとき」

⑪ 堺市立少林寺小学校

（晶子出身の宿院小学校を
引き継いだ小学校）



「をとうとは
をかしおどけし
紅き頬に
涙流して笛ならうさま」

⑫ 浜寺公園

(1873：我が国初の公立の
公園・大久保利通が守った
松林)



「ふるさとの 和泉の山を
きはやかに
浮けし海より
潮風ぞ吹く 」

この公園は、晶子にとって忘れられない公園です。それは、明治33（1900）年に大阪の北浜の平井旅館で、鉄幹と初めて出会った翌日、ここ浜寺公園にあった料亭「寿命館」で歌会があり、鉄幹、山川登美子、晶子などが一堂に出席し、それがきっかけで鉄幹と晶子との仲が急速に発展したからです。

なお、この寿命館で晶子が詠んだ歌は、「わが恋を みちびくほしと ゆびさして 君ささやきし 浜寺の夕」というものでした。この「ゆびさして」をイメージして、上の歌碑がデザインされています。

次のページに、二人の仲を近付けた「寿命館」の写真を掲げておきます。



浜寺公園：寿命館

⑬ 与謝野晶子記念館

(利晶の杜内)

堺市駅前にあった「与謝野晶子文芸館」を閉鎖し、平成15年に開館



利晶の杜遊歩道に設置されている文学碑

「寛から晶子へ
晶子から寛へ」

⑭ 堺女子短期大学

(泉陽高校卒業生により
設立された教育機関)



「 山の動く日
山の動く日きたる、
かく云えど、人これを信ぜじ、
山はしばらく眠りしのみ、
その昔、彼等みな
火に燃えて動きしを。
されど、そは信ぜずともよし、
人よ、ああ、唯だこれを信ぜよ、
すべて眠りし女、

今ぞ目覚めて動くなる。」

⑮ 大仙公園



「花の名は
一年草もある故に
忘れず星は
忘れやすかり」

⑩ 堺市立中央図書館



「堺の津
南蛮船の
行きかへば
春秋いかに
入りまじりけむ」

⑪ 大鳥大社



「和泉なる
わがうぶすなの
大鳥の
官居の杉の
青き一むら」

⑱ 羽衣国際大学
(歌中に「羽衣」の語)



「朝ぼらけ
羽ごろも白の
天の子が
乱舞するなり
八重桜ちる」

⑲ 湊駅東口・公園広場



「ちぬの浦
いさな寄るなる
をちかたは
ひねもす霞む海恋しけれ」

「夕されば
浜の出島のうたひめの
島田にまじり
かほりぞ飛ぶ」

②0 石津神社



「人とわれ 同じ十九の
おもかげを
うつせし水よ
石津川の流れ」

「石津川 ながれ砂川
髪をめでて
なでしこ添えし
旅の子も見し」

②1 堺市立上神谷小学校 (晶子が松茸狩りをした 地域の小学校)



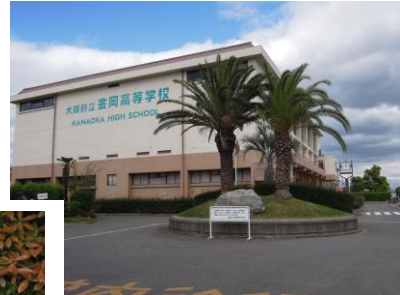
和泉の山の茸狩の思ひ出は、
十二三の年になりますまで
四五年の間は 一日も忘れな
かった程の面白いことでした。
松茸は取っても取っても
あるものですもの、嬉しさは
何とも云ひやうがありません。
母がどこに居るか、弟がどう
して居るかとも 私は思っ
て見る間がありませんでした。」

②賢明学院中学校・高等学校
 (堺市唯一のカトリック学校)



「少女子の 祈りの心
 集まれば
 ましてマリヤの
 御像光る」

②大阪府立金岡高等学校
 (「金」と「岡」の文字が
 詠み込まれている)



「金色の ちひさき鳥の
 かたちして
 銀杏ちるなり
 夕陽の岡に」

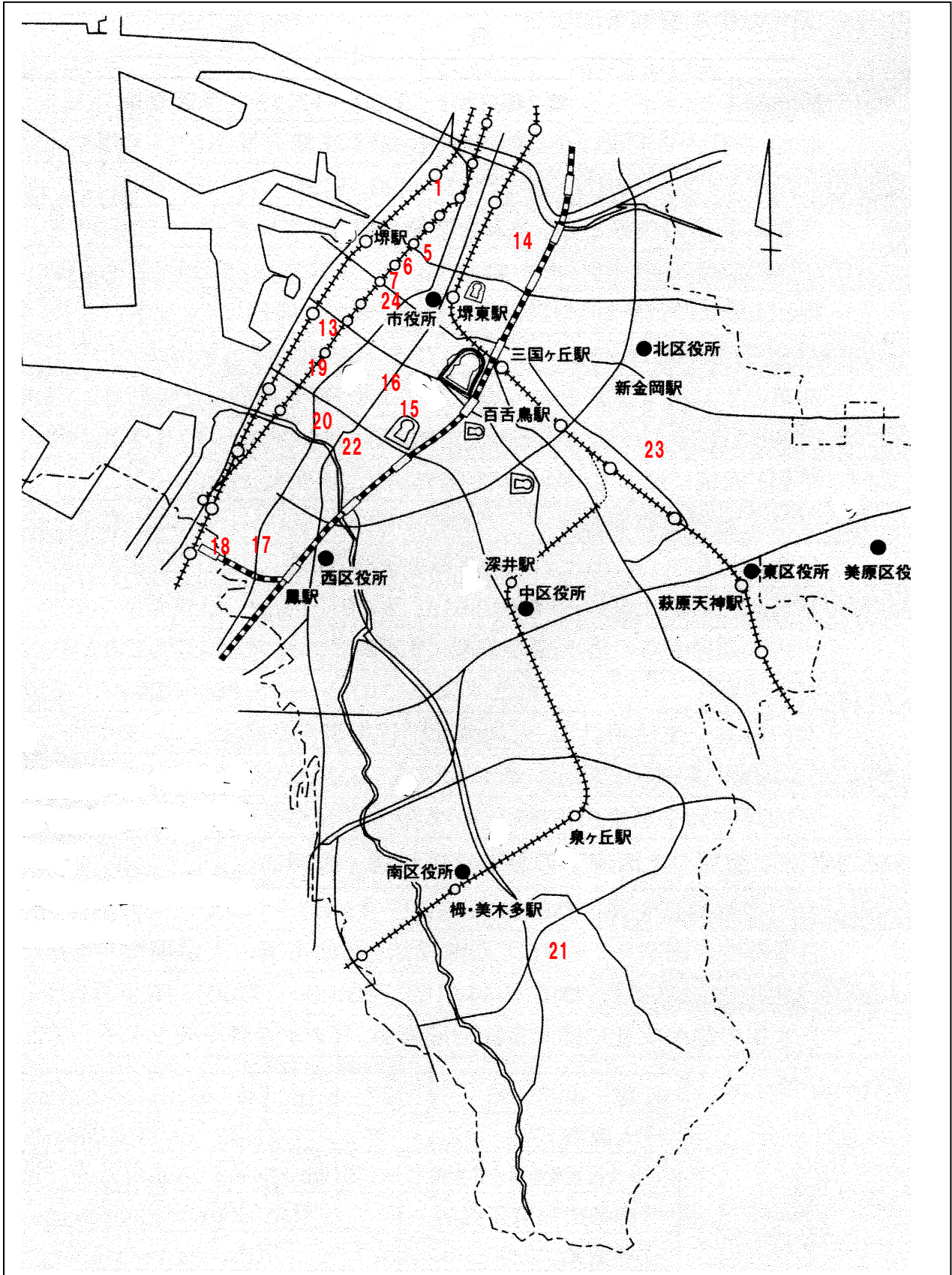
②④ 市民芸術文化ホール
(フェニーチェ堺)



「母として
女人の身をば
裂ける血に
清まらぬ世は
あらじとぞ思ふ」

この歌碑は、もともと堺市民会館前にたっていました。市民会館がフェニーチェ堺と姿を変えてからも、継続してこの地にたっています。

与謝野晶子歌碑等分布図（図中の番号は、本文歌碑等の番号）



おわりに

完成してみると、ほんとに本というよりも冊子程度になってしまいました。

当初は、歌碑のおかれている施設と与謝野晶子とのかかわりなどを書こうと思っていたのですが、施設そのものについては書けても晶子とのかかわりは書くことがほとんどないのが現状です。ちょっとしたかかわりや、何故晶子の歌碑をここにと思われるものまであり、関係を書くことは断念しました。

また、調べていくと、私が当初思っていた歌碑のある場所よりも4か所多くあることが分かり、少し手間取りました。といっても全て堺市内ですので、それほど手間をかけたというわけではありません。ただ、私が動ける休日には学校関係は閉じており、無人なものですので入れません。そういうところには、平日で行ける日を選びながらの訪問となりました。

どこの施設も温かく受け入れていただけたのがよく、わざわざそこに置かれている歌碑についての資料もいただけたところもありました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

歌碑はありませんが、やはり与謝野晶子ということで、堺市立文化館の与謝野晶子文芸館にも行き、あらためて晶子の足跡をたどった次第です。

出来あがってみると、単なる歌碑の写真集のようなものになってしまいましたが、自分で1基1基を確認して取り込んだことに意義を感じています。自分の力の届く範囲です。

今後、歌碑が増えれば、この冊子も増補していく予定です。ご期待ください。

土肥 俊夫（どい としお）

昭和25（1950）年、堺市に生まれる。

昭和48（1973）年、小学校教諭として勤務

堺市立中百舌鳥小学校、堺市立浅香山小学校

昭和61（1986）年、堺市教育委員会勤務

学校指導課、総務課、教育研究所、教育政策課

平成10（1998）年、小学校教頭として勤務

堺市立市小学校、堺市立浜寺石津小学校

和泉市立緑ヶ丘小学校、堺市立竹城台東小学校

平成20（2008）年3月退職。

平成20（2008）年4月、堺・中・西・北区役所にて非常勤で

就学相談担当

平成21（2009）年4月、堺市教育センター専門指導員として

本市の初任者教員指導担当

平成27（2015）年3月、退職

与謝野晶子歌碑めぐり

発 行 平成24年5月

改訂版発行 令和 6年3月

著者兼発行者 土肥 俊夫

（非売品）

※ 表紙の写真 上から 阪堺電気軌道線

与謝野晶子生家跡の歌碑

女性センター内の与謝野晶子像

